

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200080		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心いちたけ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字市武1234番地		
自己評価作成日	平成28年2月28日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成29年3月16日	外部評価確定日	平成29年5月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>地域密着型サービス事業所として、定期的に近隣の幼稚園の園児並びに、小学校・中学校の学生にご訪問いただき、唄や踊りを披露していただいたり、地域のお祭りや季節の行事等に積極的に参加する等、地域との交流を図っている。また、当事業所の利便性や立地を活かして、入居者様と一緒に近隣の図書館へ本や紙芝居等を借りに行ったり、近所のスーパーへの買い物、敷地内の遊歩道を散歩する等の生活支援を行っている。食事作りやおやつ作り等のレク活動を定期的実施し、事業所独自の自立支援活動にも職員全体で取り組んでいる。さらには、協力医療機関及び訪問看護ステーションとの医療連携により、入居者様の健康管理を行い、入居者様ご本人並びに、ご家族様が安心して生活することができるよう支援を行っている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホーム安心いちたけは開設して11年。広々とした敷地内には散歩道を整備し、道路沿いでありながら日常的に安心して散歩ができる環境がある。また近隣には公共機関が隣接し、図書館や公園に出掛けたり、スーパーへの買い物等利便性を活かし、地域に密着した生活支援に努めている。地域のお祭りや文化祭への参加にも積極的で、屋内に閉じこもることがない暮らしは、利用者の明るくイキイキした表情にも繋がっている。更に事業所内ではレクリエーションを毎日実施したり、職員と利用者の楽しいおしゃべり等、楽しい時間を提供しようとする配慮が窺えた。</p>

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当法人の事業目的及び運営方針の他、事業所独自の理念を掲示し、毎日の朝礼時に唱和を行い、職員間の意識統一及び意識向上を図っている。	当法人の事業目的及び運営方針の他、事業所独自の理念を掲示し、毎日の朝礼時に唱和を行い、職員間の意識統一及び意識向上を図っている。	法人の運営方針を基に事業所独自の理念を職員全員でつくり、共有し実践に繋げている。毎月のカンファレンスで困難事例等の検討会を実施する際には、理念に立ち戻り、日々のケアを振り返っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	定期的に近隣の幼稚園の園児並びに、小学校・中学校の学生にご訪問していただいたり、地域のお祭りや季節の行事に積極的に参加している。また、近所の図書館へ本や紙芝居を借りに行ったり、買い物へ出かける際には、近所のスーパーを利用する等、地域の資源を活用している。	定期的に近隣の幼稚園の園児並びに、小学校・中学校の学生にご訪問していただいたり、地域のお祭りや季節の行事に積極的に参加している。また、近所の図書館へ本や紙芝居を借りに行ったり、買い物へ出かける際には、近所のスーパーを利用する等、地域の資源を活用している。	事業所が大切にしている取り組みの一つに、利用者が地域とかかわりながら暮らすことがあげられる。自治会へ加入し、地域の行事へ積極的に参加している。図書館で紙芝居を借りたり、地元のスーパーで好きなお菓子を買うなど、日常的に地域との繋がりを持って生活している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や施設見学等の際に、入居者様への支援の方法や取り組み内容をお伝えし、地域の方々からの相談があれば随時、支援の方法等のアドバイスをを行っている。	運営推進会議や施設見学等の際に、入居者様への支援の方法や取り組み内容をお伝えし、地域の方々からの相談があれば随時、支援の方法等のアドバイスをを行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者様の状況や行事計画及び報告を行っている。参加者よりご意見やご要望があれば改善するよう努めている。また、会議欠席者へは後日、報告書を送付し、会議内容の報告に努めている。	運営推進会議では、入居者様の状況や行事計画及び報告を行っている。参加者よりご意見やご要望があれば改善するよう努めている。また、会議欠席者へは後日、報告書を送付し、会議内容の報告に努めている。	地域の区長、民生委員、行政関係者、家族、職員等の関係書が集まり会議を実施している。事業所の現況を報告する他、参加者からの意見や質問がある。地元民生委員よりボランティアの受け入れについての意見があり、傾聴ボランティアの受け入れに繋がったり、家族からの防災に関する質問に対し出席者で検討するなど、サービス向上に活かしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議や地域包括支援ネットワーク会議、自立支援ケア会議等に参加し、事例の紹介を行ったり、随時電話や訪問にて相談・助言を仰ぎ、協力関係の構築に取り組んでいる。	地域ケア会議や地域包括支援ネットワーク会議、自立支援ケア会議等に参加し、事例の紹介を行ったり、随時電話や訪問にて相談・助言を仰ぎ、協力関係の構築に取り組んでいる。	町が主催する会義には努めて出席している。地域支援ネットワークでは、民生委員、区長、警察関係が出席し、町内の現状検討会を実施している。地域ケア会議では各事業所の紹介をしたり、自立支援ケア会議では、困難事例の報告会を実施している。これらの会議を通じて、日頃から気軽に相談できる関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止に関する指針を掲示すると共に、勉強会やカンファレンス等を通じて、身体拘束を行わないケアの方法を職員間で検討し、共有認識の向上を図っている。	身体拘束廃止に関する指針を掲示すると共に、勉強会やカンファレンス等を通じて、身体拘束を行わないケアの方法を職員間で検討し、共有認識の向上を図っている。	身体拘束廃止マニュアルを作成し、拘束をしない支援を実施している。関連する勉強会も定期的に開催し、職員は拘束による弊害を理解している。玄関からの不審者侵入防止の対策として「防犯カメラ設置中」のステッカーを掲示したり転落防止のためにセンサーを利用するなど、職員間で対策を検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	地域包括支援センターの担当者をお招きし、高齢者虐待防止に関する勉強会を開催。情報伝達及び情報の共有化を図っている。また管理者は、高齢者虐待に関する様々な通達文を事業所内に掲示し、啓発活動に取り組んでいる。	地域包括支援センターの担当者をお招きし、高齢者虐待防止に関する勉強会を開催。情報伝達及び情報の共有化を図っている。また管理者は、高齢者虐待に関する様々な通達文を事業所内に掲示し、啓発活動に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	行政主催の外部研修や地域包括支援ネットワーク会議等へ参加し、権利擁護に関する制度への理解を深め、必要に応じて制度を活用できるよう支援している。	行政主催の外部研修や地域包括支援ネットワーク会議等へ参加し、権利擁護に関する制度への理解を深め、必要に応じて制度を活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の締結並びに解約、改定時は、管理者が利用者や家族に対して、十分な説明を行い、双方の納得を得た上で契約を行っている。	入居契約の締結並びに解約、改定時は、管理者が利用者や家族に対して、十分な説明を行い、双方の納得を得た上で契約を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内(各階)に要望BOXを設置すると共に、来訪者が見やすい場所に、相談窓口の掲示を行っている。また、夏祭りや敬老会等の行事開催後にはアンケートを収集し、運営推進会議等において、聴取した意見や要望の内容及び取り組み等を報告している。	施設内(各階)に要望BOXを設置すると共に、来訪者が見やすい場所に、相談窓口の掲示を行っている。また、夏祭りや敬老会等の行事開催後にはアンケートを収集し、運営推進会議等において、聴取した意見や要望の内容及び取り組み等を報告している。	家族の面会時には近況報告に努め、信頼関係を作るよう努めている。また、事業所の行事で家族に案内をする時は、終了後にアンケートを取り、意見や意向の聴取をしている。家族より接遇に関する意見が出て、研修の実施に繋がるなど、家族からの意見は、質の向上に活かしている	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、毎月のカンファレンス開催時に、各職員の意見や提案を聴取すると共に、毎週開催される法人の管理者会議開催時、また随時、各職員の意見や提案を代表者へ報告し、運営に反映できるように取り組んでいる。	管理者は、毎月のカンファレンス開催時に、各職員の意見や提案を聴取すると共に、毎週開催される法人の管理者会議開催時、また随時、各職員の意見や提案を代表者へ報告し、運営に反映できるように取り組んでいる。	毎月の会議では、職員が発言しやすい環境であり活発な意見交換が行われている。管理者の人柄もあり、日頃よりそれぞれが自由に思いを伝え、ケアや業務の改善に繋がっている。定期的に個人面談も実施し、職員個々の年間目標の評価等がされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員各自の就業状況を、定期的な面談にて把握・評価すると共に、働きやすい職場環境並びに働き甲斐のある職場環境作りを各職員と一体に検討している。また、代表者及び管理者は、外部研修への参加や資格の取得等、職員が自己研鑽に励める環境作りを努めている。	職員各自の就業状況を、定期的な面談にて把握・評価すると共に、働きやすい職場環境並びに働き甲斐のある職場環境作りを各職員と一体に検討している。また、代表者及び管理者は、外部研修への参加や資格の取得等、職員が自己研鑽に励める環境作りを努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、定期的な職員面談にて職員個々のケアの実際や力量・改善点等を把握し、法人内外の研修への参加を促すと共に、事業所内での勉強会担当者として、各職員が自己研鑽に励める環境作りを努めている。	管理者は、定期的な職員面談にて職員個々のケアの実際や力量・改善点等を把握し、法人内外の研修への参加を促すと共に、事業所内での勉強会担当者として、各職員が自己研鑽に励める環境作りを努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のネットワーク会議や外部研修やイベント等に参加し、同業者とのネットワーク作りを積極的に行うと共に、法人外の研修会へ参加することで、法人全体のサービスの質を向上させる取り組みを実施している。	地域のネットワーク会議や外部研修やイベント等に参加し、同業者とのネットワーク作りを積極的に行うと共に、法人外の研修会へ参加することで、法人全体のサービスの質を向上させる取り組みを実施している。		

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学の際には、可能な限りご本人様にもお越しいただき、施設の概要や雰囲気等をご見学いただくように努めている。また、ご見学の際には、ご本人様が困っていることや要望等をお聞きし、必要な支援方法を共に検討し、安心を確保する為の関係づくりに努めている。	施設見学の際には、可能な限りご本人様にもお越しいただき、施設の概要や雰囲気等をご見学いただくように努めている。また、ご見学の際には、ご本人様が困っていることや要望等をお聞きし、必要な支援方法を共に検討し、安心を確保する為の関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設入居をご希望されているご家族様に対して、当事業所の契約内容やサービス内容等の説明を十分に行い、これまでの生活状況及び現在・今後の不安や要望等が無い確認を行っている。	施設入居をご希望されているご家族様に対して、当事業所の契約内容やサービス内容等の説明を十分に行い、これまでの生活状況及び現在・今後の不安や要望等が無い確認を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設見学等の際に、ご本人様及びご家族様が必要としているサービス内容を確認し、双方が希望・要望するサービスを提供することができるように説明対応に努めている。	施設見学等の際に、ご本人様及びご家族様が必要としているサービス内容を確認し、双方が希望・要望するサービスを提供することができるように説明対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎月の食事作り及びおやつ作り等のレク活動や毎日の家事作業等を通じて、これまでの生活状況や暮らしの知恵等を入居者様とのコミュニケーションの中から発掘し、暮らしを共にする者同士の関係作りを努めている。	毎月の食事作り及びおやつ作り等のレク活動や毎日の家事作業等を通じて、これまでの生活状況や暮らしの知恵等を入居者様とのコミュニケーションの中から発掘し、暮らしを共にする者同士の関係作りを努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	夏祭りや敬老会等の行事開催時には、ご家族様をお招きして交流を図ったり、ご家族様の面会を積極的に促す等、共に本人様を支えていく関係づくりのアドバイスをを行っている。	夏祭りや敬老会等の行事開催時には、ご家族様をお招きして交流を図ったり、ご家族様の面会を積極的に促す等、共に本人様を支えていく関係づくりのアドバイスをを行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブレクの際には、入居者様各々の馴染みの場所をドライブしたり、地域の敬老会への参加及びかかりつけの病院等への通院支援等を行い、これまでの関係が途切れないように支援している。	ドライブレクの際には、入居者様各々の馴染みの場所をドライブしたり、地域の敬老会への参加及びかかりつけの病院等への通院支援等を行い、これまでの関係が途切れないように支援している。	住み慣れた地域へのドライブを計画したり、出身地区の敬老会に参加できるよう支援を行い、関係が途切れないよう努めている。受診した帰りに馴染みの店で買い物をしてもらい、楽しみのある暮らしに配慮している。自宅への外泊や美容院は家族の協力を得ている。携帯電話を使用されている方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎月の食事作りやおやつ作り等のレク活動及び毎日の家事活動等を通じて、入居者様同士が関わり合い、支え合える環境作りに努めると共に、入居者様同士の間に職員が介入することで、入居者様が孤立せず、安心した生活を過ごせるように支援している。	毎月の食事作りやおやつ作り等のレク活動及び毎日の家事活動等を通じて、入居者様同士が関わり合い、支え合える環境作りに努めると共に、入居者様同士の間に職員が介入することで、入居者様が孤立せず、安心した生活を過ごせるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了(退居)後も定期的にお便りを送付したり、ご自宅へ訪問する等、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて相談及び助言等の支援を行っている。	サービス利用終了(退居)後も定期的にお便りを送付したり、ご自宅へ訪問する等、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて相談及び助言等の支援を行っている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様それぞれに担当職員を配置し、随時入居者様の思いや希望を確認しながら、毎月のケア会議やカンファレンス開催時に、入居者様の意向に沿った支援を職員間で検討している。	入居者様それぞれに担当職員を配置し、随時入居者様の思いや希望を確認しながら、毎月のケア会議やカンファレンス開催時に、入居者様の意向に沿った支援を職員間で検討している。	利用者毎に職員を担当制にして、日頃の思いや意向が伝えやすいようにしている。また、夜間帯にゆっくり話ができることもある。毎日のレクリエーションに回想法を取り入れ、何気ないおしゃべりの中で、本人の思いに気づくこともある。	
----	-----	---	---	---	--	--

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各ユニットの計画作成担当者は、サービス利用開始時(前)に、ご本人様及びご家族様へこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方等の情報を本人または、ご家族様より聴取し、サービス利用開始後もこれまでの暮らし方を尊重した支援を提供できるように努めている。	各ユニットの計画作成担当者は、サービス利用開始時(前)に、ご本人様及びご家族様へこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方等の情報を本人または、ご家族様より聴取し、サービス利用開始後もこれまでの暮らし方を尊重した支援を提供できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとり、定期的にアセスメントを行い、各担当者と共に現状の把握に留意している。また、日々の心身状態や状況を個人記録に記載すると共に、申し送りノート等を活用して、職員間での情報共有及び現状の把握に努めている。	入居者様一人ひとり、定期的にアセスメントを行い、各担当者と共に現状の把握に留意している。また、日々の心身状態や状況を個人記録に記載すると共に、申し送りノート等を活用して、職員間での情報共有及び現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各ユニットの計画作成担当者を主体とし、毎月のケア会議開催時に職員間での話し合いの機会を設けると共に、サービス担当者会議開催時には、本人様並びにご家族様の意向をお聞きし、現状に即した介護計画書の作成に努めている。	各ユニットの計画作成担当者を主体とし、毎月のケア会議開催時に職員間での話し合いの機会を設けると共に、サービス担当者会議開催時には、本人様並びにご家族様の意向をお聞きし、現状に即した介護計画書の作成に努めている。	毎月ケア会議を実施し、本人の意向や希望を中心に、現状に即した介護計画を作成している。実際に日頃のケアに繋がる具体的な計画である。会議開催時に、家族へも案内をしているが、参加されることが少なく、事前に家族からの意向や希望を把握している。定期的なモニタリング、評価を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様各々の日々の様子やケアの実践、結果、気づき等を個人記録及び支援経過記録、申し送りノートに記録すると共に、毎月のケア会議及びカンファレンス等で話し合った内容を介護計画書に反映し、介護計画の見直しに活用している。	入居者様各々の日々の様子やケアの実践、結果、気づき等を個人記録及び支援経過記録、申し送りノートに記録すると共に、毎月のケア会議及びカンファレンス等で話し合った内容を介護計画書に反映し、介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様やご家族様の状況及び要望に応じて、既存のサービスに捉われない、外部サービスを活用する等、サービスの多機能化に取り組んでいる。	本人様やご家族様の状況及び要望に応じて、既存のサービスに捉われない、外部サービスを活用する等、サービスの多機能化に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物へ出かける際には、近所のスーパーを利用したり、近隣の図書館へ本や紙芝居等を借りに行ったり、地域の行事に参加する等、地域の資源を活用し、入居者様一人ひとりが豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	買い物へ出かける際には、近所のスーパーを利用したり、近隣の図書館へ本や紙芝居等を借りに行ったり、地域の行事に参加する等、地域の資源を活用し、入居者様一人ひとりが豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設見学時には、入居前からのかかりつけ医の確認を行うと共に、本人様及びご家族様等の希望に合わせた対応を検討している。必要に応じて、かかりつけ医との情報交換を図り、適切な医療を受けられるように支援している。	施設見学時には、入居前からのかかりつけ医の確認を行うと共に、本人様及びご家族様等の希望に合わせた対応を検討している。必要に応じて、かかりつけ医との情報伝達を図り、適切な医療を受けられるように支援している。	本人と家族が希望する病院への受診を基本としている。受診時には家族の協力を得ているが、緊急時等は事業所の職員が付き添う。母体の医療機関から月3回訪問診療が行われ、訪問看護も週2回来訪し、利用者全員の健康管理により異常時の早期発見、早期対応は家族の安心となっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師による定期訪問時には、入居者様の日々の様子や気づき等を報告すると共に、異常があればすぐに主治医並びに訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられるよう努めている。	訪問看護師による定期訪問時には、入居者様の日々の様子や気づき等を報告すると共に、異常があればすぐに主治医並びに訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院した際には、入居者様のADL情報のみならず、性格や普段の様子等、細かな情報を提供している。また、早期退院に向けた情報交換を定期的に病院関係者で行い、状況把握に努めている。	入居者様が入院した際には、入居者様のADL情報のみならず、性格や普段の様子等、細かな情報を提供している。また、早期退院に向けた情報交換を定期的に病院関係者で行い、状況把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時等には、重度化した場合や終末期に向けた方針の確認及び説明を行っている。また、入居者様の状態に応じて、ご家族様、主治医との話し合いの場を設け、本人様並びにご家族様の希望される治療方針を多職種が連携し、提供できるように努めている。	入居契約時等には、重度化した場合や終末期に向けた方針の確認及び説明を行っている。また、入居者様の状態に応じて、ご家族様、主治医との話し合いの場を設け、本人様並びにご家族様の希望される治療方針を多職種が連携し、提供できるように努めている。	重度化、終末期に関する指針を作成し、入居時に説明、同意を得ている。状況の変化に応じ、本人や家族の気持ちが変わることを理解し、医師との連携を図りながら、家族と段階ごとに話し合いをしている。これまで3件の看取りを行ったが、その度に職員からアンケートをとり、職員の不安等課題を検討する機会を作っている。協力病院からの医療的なフォローは心強い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応や初期対応等の知識の向上を図る為、外部研修会での訓練及び研修会等に参加すると共に、マニュアル整備を行うことで事故発生時に実践できるよう努めている。	急変時の対応や初期対応等の知識の向上を図る為、外部研修会での訓練及び研修会等に参加すると共に、マニュアル整備を行うことで事故発生時に実践できるよう努めている。	/	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中及び夜間を想定した消防訓練を定期的実施し、入居者様の状態・状況に応じた避難誘導の方法を把握することができるように努めている。また、地域住民の参加を呼びかけ、地域との協力体制作りを行っている。	日中及び夜間を想定した消防訓練を定期的実施し、入居者様の状態・状況に応じた避難誘導の方法を把握することができるように努めている。また、地域住民の参加を呼びかけ、地域との協力体制作りを行っている。	定期的に災害時の避難訓練を消防署の指導を受けながら実施している。職員だけの誘導の限界を踏まえ、地域住民へも自治会の回覧板を通じて呼びかけ、参加してもらっている。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症ケアや接遇マナーに関する勉強会を開催し、入居者様個人の人格の尊厳について職員間で共通認識がもてるように努めると共に、日々のケアにおいて個人の誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応をカンファレンス時に、職員間で協議している。	認知症ケアや接遇マナーに関する勉強会を開催し、入居者様個人の人格の尊厳について職員間で共通認識がもてるように努めると共に、日々のケアにおいて個人の誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応をカンファレンス時に、職員間で協議している。	接遇に関する外部研修会に参加したり、事業所でも行政へ接遇の講師を依頼して勉強会を実施するなど力を入れている。利用者や家族に対する接遇がサービスの質を左右すると考えており、管理者が日常の関わりの中で誇りやプライバシーについて指導することもある。	
----	------	---	---	---	---	--

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、入居者様個人の思いや希望を確認すると共に、入居者様自身で決定できる声かけ対応に努めている。	日常生活の中で、入居者様個人の思いや希望を確認すると共に、入居者様自身で決定できる声かけ対応に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の体調や意向に合わせた個別ケアを大切にすると共に、入居者様自身のペースに合わせた支援を行っている。	入居者様の体調や意向に合わせた個別ケアを大切にすると共に、入居者様自身のペースに合わせた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者様それぞれの希望に応じて、毎月来訪いただく訪問理美容の方に、希望に沿った髪型(カット・カラー・パーマ等)に整えていただいている。また、行きつけの美容室がある方は、ご家族様と協力して支援している。	入居者様それぞれの希望に応じて、毎月来訪いただく訪問理美容の方に、希望に沿った髪型(カット・カラー・パーマ等)に整えていただいている。また、行きつけの美容室がある方は、ご家族様と協力して支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の調理以外に毎月、季節に合わせた食事作りやおやつ作りのレク活動を計画・実施し、入居者様の持てる力を発揮できる機会を提供している。	毎日の調理以外に毎月、季節に合わせた食事作りやおやつ作りのレク活動を計画・実施し、入居者様の持てる力を発揮できる機会を提供している。	食事は、外部業者の真空パックでの配送を利用し、配膳している。減塩やミキサー食、刻み食など、利用者の身体状況に応じた食事を提供している。日頃の調理をしない環境に配慮し、レクレーションで夕食やおやつ作りをして利用者の希望や好みを取り入れ、楽しめる行事を実施している。食事は職員も同じテーブルで会話を楽しみながら、同じものを一緒に食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様1人ひとりの一日の食事量や水分量を記録し、摂取量の少ない方には、高カロリー栄養補助食品や各々の嗜好に合わせた捕食を、ご家族様の協力を仰ぎながら提供している。	入居者様2人ひとりの一日の食事量や水分量を記録し、摂取量の少ない方には、高カロリー栄養補助食品や各々の嗜好に合わせた捕食を、ご家族様の協力を仰ぎながら提供している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず歯磨きの声かけ、口腔ケアを行い、口腔内の清潔が保てるように支援している。必要に応じて、訪問歯科の往診を依頼し、口腔内の状態確認及び口腔ケアの指導・助言等を行っていただいている。	毎食後、必ず歯磨きの声かけ、口腔ケアを行い、口腔内の清潔が保てるように支援している。必要に応じて、訪問歯科の往診を依頼し、口腔内の状態確認及び口腔ケアの指導・助言等を行っていただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、入居者様1人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。また、カンファレンス等で入居者様各々に合った排泄方法を職員間で協議し、可能な限りトイレでの排泄が行えるよう状態に応じて、職員2人での排泄介助を行う等の支援を行っている。	排泄チェック表を活用し、入居者様1人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。また、カンファレンス等で入居者様各々に合った排泄方法を職員間で協議し、可能な限りトイレでの排泄が行えるよう状態に応じて、職員3人での排泄介助を行う等の支援を行っている。	可能な限りトイレで排泄してもらうことを大切に、個々の排泄パターンに応じ、時間にとらわれない排泄介護を実施している。立位が無理な方もあきらめず、職員2人対応で、トイレまで誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には、乳製品の提供や排泄時の腹部マッサージ等の他、各々の状態に合わせて散歩や平行棒、足こぎ等を用いた運動支援を行っている。	便秘気味の方には、乳製品の提供や排泄時の腹部マッサージ等の他、各々の状態に合わせて散歩や平行棒、足こぎ等を用いた運動支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	日中の大半の時間を入浴時間として、ゆっくりと入浴できるようにしている。入居者様の体調を見て入浴日を変更したり、午前中に入浴を断られた方には、午後からの入浴を勧めている。バスクリンを使用する等、入浴を楽しめる工夫も行っている。	日中の大半の時間を入浴時間として、ゆっくりと入浴できるようにしている。入居者様の体調を見て入浴日を変更したり、午前中に入浴を断られた方には、午後からの入浴を勧めている。バスクリンを使用する等、入浴を楽しめる工夫も行っている。	日中を通じて、入浴できる環境である。時間は希望に応じて自由であり、毎日入りたい方はそれも可能である。拒む方は職員が交代したり、時間をずらす等なるべく入ってもらおう工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様各々の生活リズムや体調を考慮し、日中に休息時間を設けたり、室温・寝具調節を行い、安心して睡眠が取れるように支援している。	入居者様各々の生活リズムや体調を考慮し、日中に休息時間を設けたり、室温・寝具調節を行い、安心して睡眠が取れるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様各々の薬剤情報等については事務所で管理すると共に、服薬されている内服薬の一覧表を作成し、全職員が確認できる体制を整備している。症状の変化があれば主治医や訪問看護及び薬剤師へ連絡し、確認・相談を行っている。	入居者様各々の薬剤情報等については事務所で管理すると共に、服薬されている内服薬の一覧表を作成し、全職員が確認できる体制を整備している。症状の変化があれば主治医や訪問看護及び薬剤師へ連絡し、確認・相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様各々の生活歴や力を活かした役割をレク活動や家事活動等に活用し、気分転換が図れるように支援している。	入居者様各々の生活歴や力を活かした役割をレク活動や家事活動等に活用し、気分転換が図れるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や体調が良い日には、施設近隣を散歩したり、外泊・外出希望時には、主治医の確認及びご家族様の協力のもと外出できる機会を作っている。	天候や体調が良い日には、施設近隣を散歩したり、外泊・外出希望時には、主治医の確認及びご家族様の協力のもと外出できる機会を作っている。	事業所の敷地が広く、庭に散歩道を作り、利用者が安全に戸外の空気に触れることができる環境がある。また、地域との交流も活発で、地域行事への参加、近隣のスーパーでの買い物、図書館へ通う等、気候により日常的に外出を支援している。自宅への外出、美容院等個別に家族の協力を得る場合もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の自己管理が可能な方や希望者に関しては、ご家族様確認の上、所持していただき、買い物へ出かけた際や外出時には、購入したい物を購入できるよう支援している。	金銭の自己管理が可能な方や希望者に関しては、ご家族様確認の上、所持していただき、買い物へ出かけた際や外出時には、購入したい物を購入できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望された際には、電話を取り次ぎ、電話でのやり取りができるように支援している。また、手紙の送付先を調べたり、請求書等の郵便物に書かれた手紙を同封する等の代行支援を行っている。	電話を希望された際には、電話を取り次ぎ、電話でのやり取りができるように支援している。また、手紙の送付先を調べたり、請求書等の郵便物に書かれた手紙を同封する等の代行支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付けを入居者様と一緒に作成・掲示したり、季節感を採り入れた花々を飾る等、居心地よく過ごせる空間作りに配慮している。	季節に応じた飾り付けを入居者様と一緒に作成・掲示したり、季節感を採り入れた花々を飾る等、居心地よく過ごせる空間作りに配慮している。	共用空間は明るく家庭的な雰囲気がある。季節ごとの貼り絵を、利用者が作成し掲示されている。混乱を招くような刺激はなく居心地よく過ごされている。お地藏さまや神棚が祀られて、日頃お参りすることで心の安定に繋がっている。リビングに、歩行器や運動機器がおかれ自由に運動できる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファを配置し、入居者様が思い思いに過ごせる環境に配慮している。	共用空間にはソファを配置し、入居者様が思い思いに過ごせる環境に配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	サービス利用開始時には、ご家族様と相談し、これまで使い慣れた家財道具を可能な限りお持ちいただくように説明し、本人様が居心地よく過ごせる環境作りに配慮している。	サービス利用開始時には、ご家族様と相談し、これまで使い慣れた家財道具を可能な限りお持ちいただくように説明し、本人様が居心地よく過ごせる環境作りに配慮している。	利用者の安心できるものを持参していただくようお願いしている。タンス、椅子、テレビ、ぬいぐるみ等、使い慣れたなじみの家具が持ち込まれ、自分の作品が所狭しと飾られたり、好きな歌手のプロマイドが飾られ、個性豊かな居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご家族様に確認、了解をいただいた上で、各居室にネームプレートを飾らせていただき、入居者様自らが各々の居室を理解することができるように配慮したり、建物内部には手すりを設置し安全且つ自立した生活が送れるように配慮している。	ご家族様に確認、了解をいただいた上で、各居室にネームプレートを飾らせていただき、入居者様自らが各々の居室を理解することができるように配慮したり、建物内部には手すりを設置し安全且つ自立した生活が送れるように配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○		1. ほぼ全ての家族等が
			○	2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない